



2023-24 年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

Weekly Report Niigata



2023~24 年度
新潟ロータリークラブ会長

内山 博之

新潟 RC 2 月第 1 例会 (2024.2.6) (Zoom 例会併催) No.3493

(1) 「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 内山 博之会長挨拶

皆さん、こんにちは。皆さんお持ちの手帳の最初にロータリーの目的とあります。それは、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を推奨し、これを育むことにあります。具体的には、次の各項を推奨することにあります。第一、知合いを広めることによって奉仕の機会とすること、第二、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること、第三、ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること、第四、奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進することとあります。ロータリーにおいては service という言葉が頻出しますがその標準的な訳語としてこの「奉仕」という言葉を使っていますが、「奉仕」という言葉ですべてを表現できるのか大きな疑問が残ります。まず service という用語の意味であります辞書で調べますと①公務に対する事業、供給、用務、兵役、②勤務、使用人としての務め③修理点検、④客扱い、⑤尽力、貢献、⑥役立つこと、奉仕、⑦宗教上の儀式などの訳がありますが、日本では商業上で一般的に使われている「値引き」とか「おまけ」といった意味は含まれていません。ロータリーで使う場合、ロータリアンならば service という意味はある程度理解できるのですが、それを日本語で表現する場合、果たして「奉仕」と訳して、その本質が分かるかどうか疑問が残ります。米山梅吉もそのことを心配したらしく、service を敢えて訳さずに、「サーヴィス」とそのまま記載しています。いろいろなロータリアンがいろいろな立場から service を述べていますが、シェルドンが述べる ideal service の理念は、偽りに満ちた骨肉相食む、食うか食われるかの熾烈な競争社会、20 世紀初頭の新興国家アメリカで生まれた思考であることを忘れてはなりません。ここでシェルドンが述べている service の定義をご紹介します。Service とは、①仕事を管理する人たち(企業主)を管理すること、②管理

される人たち(従業員)を管理すること、③この両者に顧客を加えた集団を管理すること、④時間やエネルギーやお金や材料を無駄遣いせず有効に活用して保全することと定義しています。これは、すべて安心と豊かな実りを獲得するための道です。世に有用な職業に従事している人は全員、奉仕によって品物を作ったり、売ったりしているのです。すべての従業員は、人の役に立つものを作り、雇用主はそれを売っているのです。役に立つこととは service の別名なのです。私たちが今まで使ってきた奉仕とはかなり異なった定義であり、世に有用な職業に従事して働く行動は、全て service だと考えても良いように思われます。この定義から service をロータリアン的な日本語に翻訳するとどうなるでしょうか。それは、人の役に立つこととなります。さらに、シェルドンは、service という単語そのものについて、あまりに多くの意味を持った単語なので、一言で言い表すことは不可能であると前置きして、service を受けた立場から得られるのは「満足感」であると述べています。では、service を行う立場からはどのように表現したら良いのでしょうか。一般社会の中で、service という言葉が、百貨店のバーゲンセールなどを連想させないように、ロータリーと関連付けるためには、どのような日本語が適切でしょうか。「貢献」という言葉を使うのも一つの方法かもしれませんが、ロータリーが他の奉仕団体と異なる唯一の活動は職業奉仕にあります。従って、ロータリアンとして最も重要な使命は、職業を通じて社会に奉仕(貢献)することです。奉仕を実践すれば後から必ず利益がもたらされます。先に利益を求める人の事業は衰退します。小さな奉仕には小さな利益が、大きな奉仕には大きな利益がもたらされるのです。ロータリーの基本的理念は、人に対する思いやりと人に対して役に立つことなのです。以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。有難うございました。

(3) 誕生日お祝い贈呈(4名)

(4) 結婚記念日お祝いの紹介(7名)

(5) 半期決算報告(高野潤会計)

(6) 半期決算監査報告(細野義彦監査役)

(7) ロータリーの友ご紹介 (河西弘太郎広報会報雑誌委員)

(8) 委員会報告

・高橋秀松社会奉仕委員長より ロータリー保育園訪問報告 (p 3に記載)

・若槻良宏グローバル奨学生カウンセラー奨学生近況報告

・石橋正利米山奨学生カウンセラーより米山奨学委員長セミナー報告

・梶坂昌春青少年奉仕委員長より、青少年育成基金贈呈先募集案内。5月20日までに推薦をお願いします。

(9) 高橋秀松ごフル同好会会長報告 (p 3に記載)

(10) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(本多 晃委員長)

本多 晃君

米山奨学会寄付発表(佐藤 隆夫委員長)

佐藤 隆夫君 石橋 正利君

(11) ニコニコボックス紹介 (福満 純幸委員)

・大桃 典和君 先般の新年家族会では還暦のお祝いをしていただき誠にありがとうございました。自分もその年齢になったのだと改めて実感した次第です。生まれ変わった気持ちで1年間過ごしたいと思います。

・榎本豊君 2月3日に開催されました川奈ホテルゴルフコースにてのゴルフ同好会コンペにて初めて優勝させていただきました。ご一緒させて頂きました白勢さん、本多さん、栗原さんありがとうございました！

・本多 晃君 2月3日4日の土日に高橋秀松さん、栗原美樹さんのお手配により川奈ホテルゴルフコースでゴルフをしてきました。土曜日は晴天の中、桜も咲く富士コースをラウンドし、日曜日はあいにくの小雨の中、大島コースをラウンドしてきました。とても印象に残るホールが多く、楽しむことができました。同行して頂いた方々に感謝いたします。また、私が遊んでいる2日間、次男の医師国家試験があり、試験後問題なかったとの報告がありました。親が何をしても子供はしっかりとしていることを再認識しニコニコします。

(12) 表彰

・高橋 秀松さんへベネファクター認証状とピン伝達

(13) 幹事報告 (高野潤直前幹事)

・理事会報告

・ロータリーレートが147円に変更になりました。

・2024~25年度版 ロータリー手帳 1冊660円の予約を付けております。ご希望の方は2月20日までに新潟ロータリークラブ事務局へお申し込み下さい。

2月6日 理事会報告 出席者 10名

1 半期決算について=承認

2 新潟ロータリークラブ85周年式典日程について=承認

2025年4月22日(火)

17時予定 会場 イタリア軒

3 地区より依頼の能登半島地震被災者支援金について=一人あたり千円、8万5千円を社会事業基金より拠出する

4 被災された新潟クラブ会員へのお見舞いについて= 当会5名から被災申告があった。

@3万円/人(7クラブの会長幹事会での基準) 前橋クラブ山田邦子氏から10万円/5人

3万+2万=@5万/人を贈る

5 香港島東RC70周年記念式典参加についてクラブとして補助

お祝い10万円 登録料@4万/人×4人=16万円

交通費補助@5万/人×4人=20万円を補助する

6 2月のプログラム=承認

2月 6日 半期決算報告

第一例会につき卓話なし

2月13日 会員スピーチ

新潟県経済の課題

—インバウンド需要の地域間比較—

日本銀行新潟支店長 小林 俊君

2月20日 市内7RC合同例会の振替休会

2月22日 市内7RC合同例会

於 ANAクラウンプラザホテル新潟

受付 18:00

2月27日 卓話「新潟清酒の現状と

麒麟山酒造の酒造り」

麒麟山酒造株式会社

代表取締役社長 齋藤 俊太郎氏

7 その他 報告

・次年度地区役員推薦の件

地区事務所長 山田 隆一君

(14) 2月6日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
85	81	72	88.89

Zoom 参加 15名

2月13日の例会プログラムは 会員スピーチ

「新潟県経済の課題

ーインバウンド需要の地域間比較ー」

日本銀行新潟支店長 小林 俊君

新潟 RC ゴルフ同好会報告

高橋 秀松ゴルフ同好会会長

ゴルフ同好会では、2月3日冬季特別企画としてgolferなら一度は回ってみたい、川奈ホテルゴルフ 富士コースの研修会を企画いたしました。総勢11名で参加をいたしました。

景色は最高、アンジュレーションにとんだ素晴らしいゴルフ場でした。

優勝者は、榎本豊さん準優勝は大桃和典さんでした。名門コースというものは、うまい人はそれなりに、下手くそはそれなり以上に下手になるようです。

冬の日を楽しく過ごしてきました。企画をして頂いた栗原さんに感謝いたします。

ロータリー保育園節分訪問報告

高橋 秀松社会奉仕委員長

2月2日ロータリー保育園にて節分の会に、今年福の神として、内山博之会長 佐藤邦栄大委員長 社会奉仕委員会から高橋秀松委員長の3人で、福の神からのプレゼントを持って参加して参りました。内山会長より福の神としての、お話があり。園児たちと一緒に歌を歌ったりして、楽しい時間を過ごし、園児たちから、逆に福をもらって、幸せな気持ちで帰って来ました。



新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>